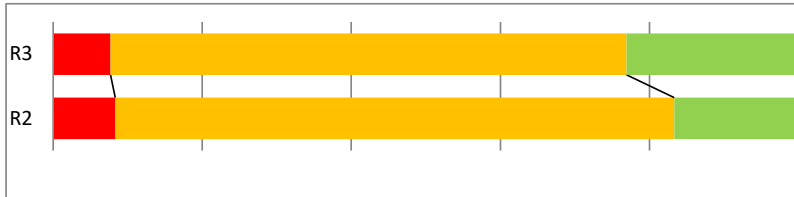
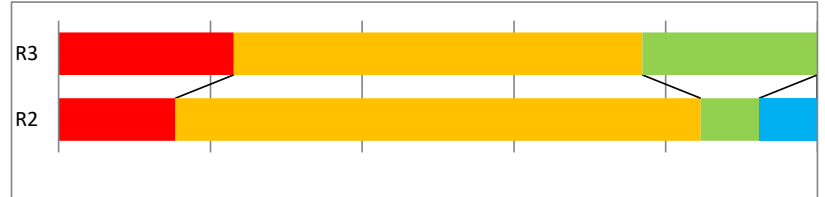


回答人数 13名

1 学校教育目標やめざす児童像等は、子どもや地域の実態・社会の流れに即したものである。



2 学年・学級目標は、学校教育目標やめざす児童像等の実現に向けた課題を具現化したものである。



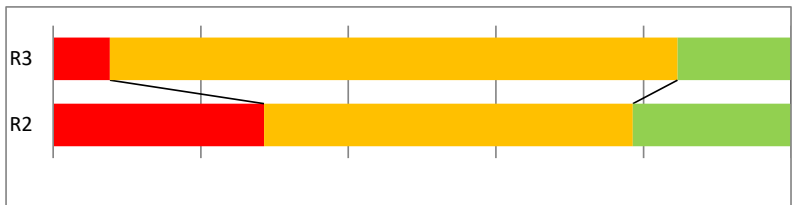
3 教科学習における基礎基本の内容について共通理解ができています。



4 一人一人の児童のもつ個性や可能性を伸ばす学習が展開されている。



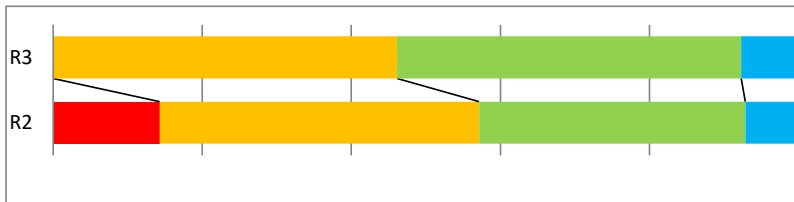
5 配慮を要する児童について焦点化して取り組んでいる。



6 学習内容が十分定着していない児童について、家庭との連携を密にした取組ができています。



7 一人一人の児童に、課題を発見し追求していく力が身についてきている。



8 児童が自ら進んで意欲的に学習し、充実感を味わっている。



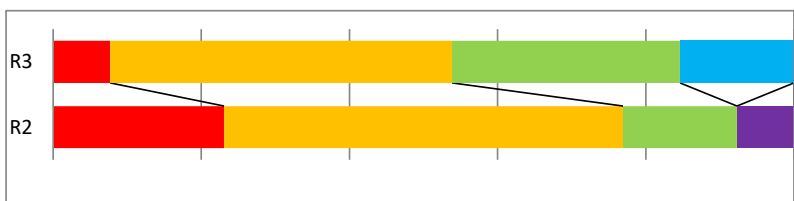
9 道徳科の年間計画に基づき、展開を工夫した「道徳の授業」が行われている。



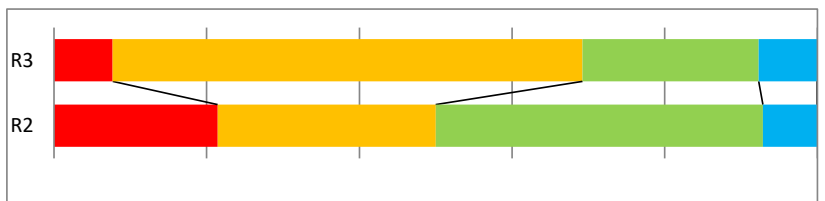
10 児童に道徳心や判断力等が育ち、道徳的実践力が身についている。



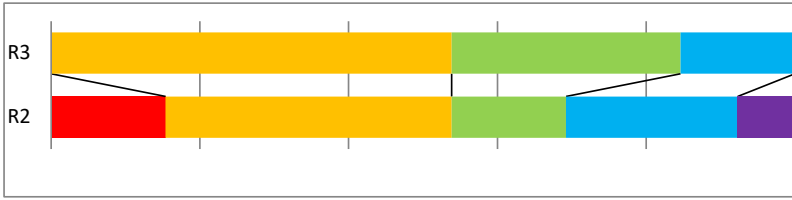
11 児童の興味・関心・願いを生かし、体験活動を重視した学習活動ができています。



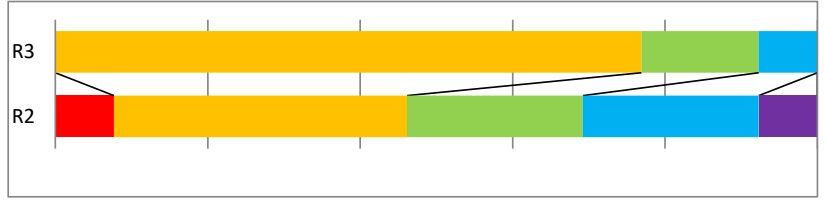
12 一人一人の児童が課題をもち、意欲的に問題解決を図る授業になっている。



13 学校行事は適切であり、児童は体験的な活動を楽しみ、進んで取り組んでいる。



14 児童会活動は、ねらいにあった内容で活発に行われている。



15 クラブ活動で、児童たちは意欲的な活動を楽しんでいる。



16 児童一人一人をしっかりと理解し、個に応じた指導ができています。



17 問題行動の背景を十分把握し、家庭との連携を図った取組ができています。



18 いじめや仲間外れのない学級づくりを重点にした取組ができています。



19 児童の問題行動や保護者の悩みの解決に向けて、教育相談体制や協力体制ができています。



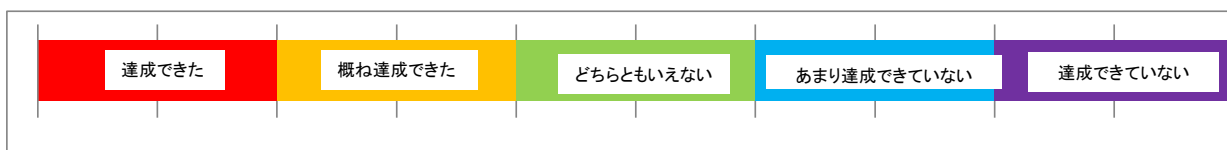
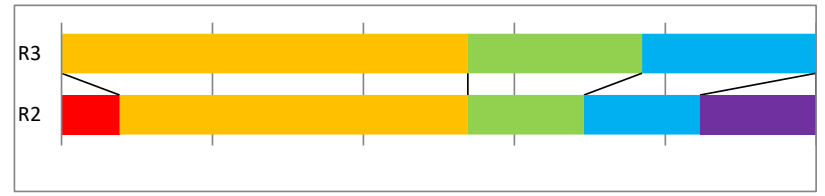
20 児童は、学校や学級を楽しんでいる。



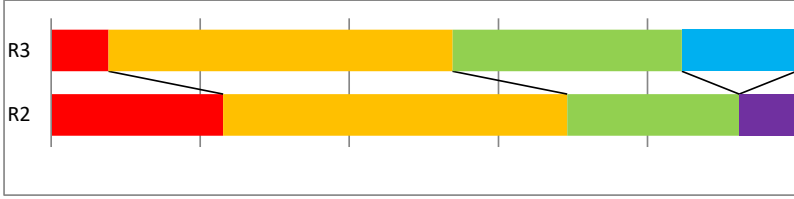
21 社会的自立に向け、身につけさせたい基礎的・汎用的能力を意識した指導に取り組んでいる。



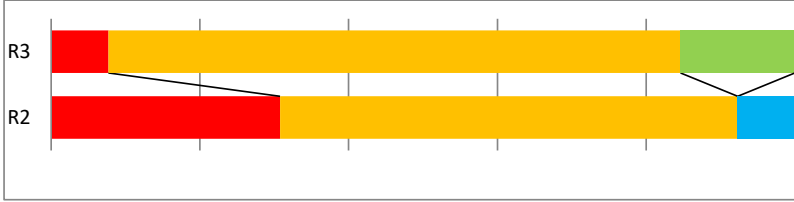
22 地元ひょうごや、地域人材・自然を生かした体験的な活動の充実が図られている。



23 外国語活動の充実並びに、国際理解教育や地域の伝統と文化に関する教育の推進が図られている。



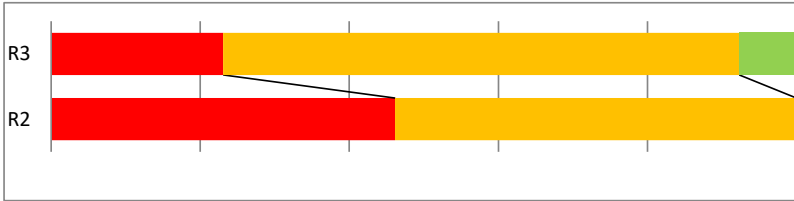
25 若松学級のねらいに添った教育内容が充実している。



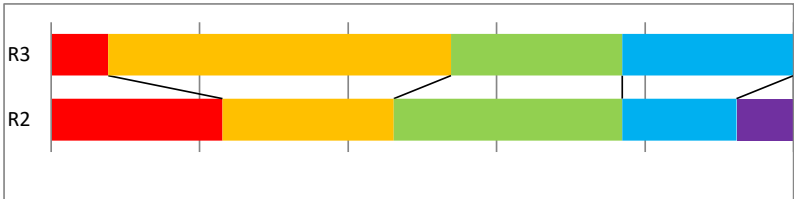
27 児童たちに人権教育を尊重する精神が育っている。



29 学年の発達段階に応じた「食」や「健康・安全」に関する指導ができています。



31 地域の人材や地域教材を活用した授業や活動を取り入れている。



33 各教科の指導計画に基づいて、教材・教具を有効・適切に整備・管理・活用している。



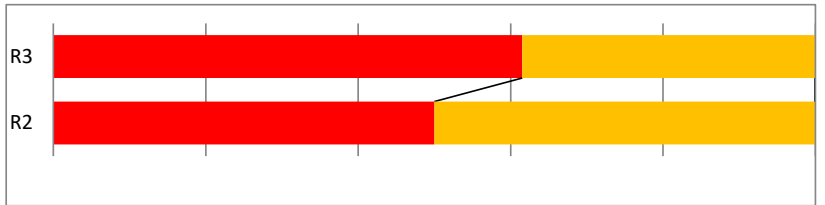
24 人権尊重を基本においた教育活動や学級経営ができている。



26 人権問題についての研修が充実し、教職員の理解が深まっている。



28 安全や衛生に気をつけて学校給食を実施している。



30 家庭・地域に開かれた学校となる取組が進んできている。



32 事前審議等適正な予算執行ができています。

